

栄村復興支援機構「結い」 希望のたね通信

第25号

みなさんこんにちは！結いのしよです。雪もひと段落し、春はもうすぐですね♪

さて、3月12日で震災から1年が経ちました。夢にも思わなかったあの日から、今日まで皆さん本当に頑張ってきたことと思います。そして、村外からも温かいご支援を沢山頂きました。1年という節目を迎えた今、様々な想いがあることでしょう。忘れないようにしっかりと記憶に収める人、復興に向け一歩踏み出す人、支援してくれた方へ恩返しする人、みんなで未来へ繋がる一歩を踏み出しましょう。結いも引き続きサポートをしていきたいと考えています。被災した人への支援、被災した村への支援、多種多様のお声に応えるべく活動して参ります。これからもどうぞ宜しくお願い致します！

県内の病院から

2月には北信総合病院から20名の有志が、3月には佐久総合病院から10名の有志が結いのしよとして栄村に来てくださいました。団体でのボランティア活動になりますので、雪害多作救助員の方に相談し、公共施設や民家の雪掘りをして頂きました。みなさんスノーダンプの扱いには慣れておらず、苦戦しながらも一生懸命やっていたきました。屋根雪のたまった場所も大勢ですと、機械が無くても半日で2階の窓が出るようになりまして！こうした団体での結いのしよ登録もあり、栄村で活動して下さった方は3月でのべ3900人を超えました☆



癒し系結いのしよも活躍しています

最近ではマッサージや針治療などの施術をして下さる結いのしよも増えてきました。身体を温めて健康増進を目的とした「長野気持ちはいい快」や長野県鍼灸師会からは7名も鍼灸師の方がいらして、横倉の仮設集会所と結い事務局の2か所で同時開催も。凝り固まった体をほぐすのにとっても良い機会でした。他にも歌やパフォーマンスで皆さんを楽しませたいといった方も沢山いらっしゃいます。こんな方に来て欲しいなどご要望があればご相談下さい。

ミニ座談会第2回を開催しました

栄中でのミニ座談会に続いて、村外から移住されたターナーの方々にお集まりいただき、復興計画策定に向けたご意見をお伺いしました。外からの目線、栄村に住んでみて思った事などをお話しして頂きました。栄村が注目されている今、手を差し伸べてくれる専門家や学識者の力を借りるべきだ。村の伝統を守りながら「変える」ではなく「添える」意識を持つて新しいことに取り組むのではどうか？など活発な意見が出ました。その場で初めてお会いした方も多く、これを機にネットワークを広げようという声も！とても素晴らしい会になりました。この報告は前回の栄中編と合わせ、復興計画策定委員会の資料として村へあげられます。次回は子育て世代のお母さん方にご協力頂いて、第3回を開催したいと思っております。

「結いのしよ」に手伝ってもらいたいこと・相談したいことがあったら…？

→「結い」に直接お越しいただくか、お電話をください。お名前やお手伝いの内容をお伺いします。

栄村復興支援機構「結い」
(8:30~17:00)
場所:森宮野原駅交流館2階
電話:050-3583-2122

